

BSIとGSX、CEH（認定ホワイトハッカー）の上位資格「CEHマスター」 実技試験を日本初開催へ

～「攻撃者視点」の判断力を認定するセキュリティ技術者認定実技試験をローンチ～

BSI Professional Services Japan株式会社（神奈川県横浜市みなとみらい、代表取締役社長 小島 英彦、以下、BSI PSJ）およびグローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区海岸、代表取締役社長：青柳 史郎、証券コード：4417、<https://www.gsx.co.jp/>、以下、GSX）は、情報セキュリティ国際認定資格試験およびEC-Council公式トレーニングのJAPANマスターディストリビュータとして提供している「CEH（Certified Ethical Hacker：認定ホワイトハッカー）の上位資格「CEHマスター（CEH Master）」となるための実技試験（CEH Practical）を日本国内で初めて開催いたします。

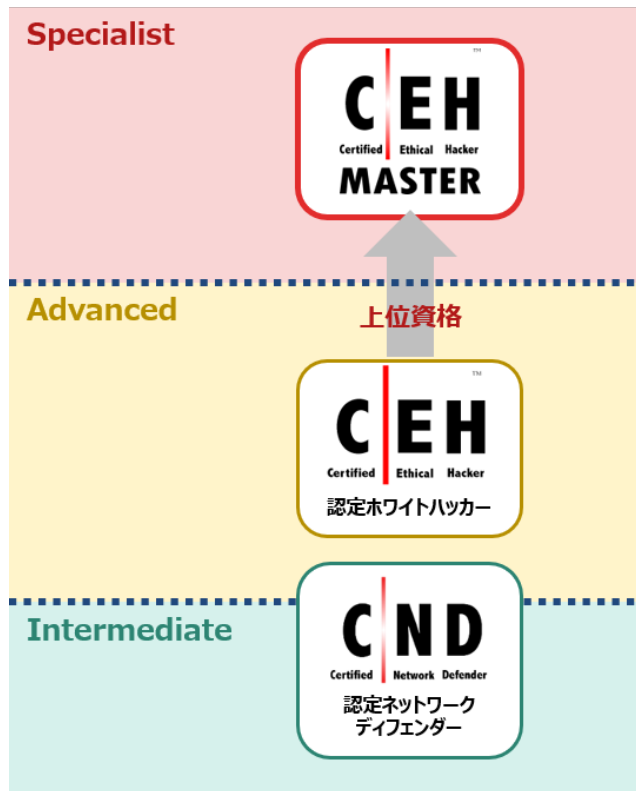
■「サイバーセキュリティ教育カンパニー」として実践的かつ即戦力となる教育講座を提供

サイバー攻撃は増加の一途をたどっています。そのため、管理しなければならないサイバーセキュリティリスクは多様化・高度化しており、大規模企業のみならず、相対的にセキュリティ対策が遅れている中堅・中小企業においても、セキュリティ対策と推進を担うセキュリティ人材の育成は、必要かつ急務となっています。

このような状況を踏まえて、GSXは「サイバーセキュリティ教育カンパニー」のコンセプトのもと、サイバーセキュリティに関する多面的なサービスを提供しています。

教育サービスにおいては、2016年に米国EC-Council International社（EC-Council）と販売代理店契約を締結し、EC-CouncilのJAPANマスターディストリビュータとして、EC-Councilの各コースウェアである、CND（Certified Network Defender：認定ネットワークディフェンダー）、CEH（Certified Ethical Hacker：認定ホワイトハッカー）、CASE（Certified Application Security Engineer：認定アプリケーションセキュリティエンジニア）、CHFI（Computer Hacking Forensic Investigator：コンピュータハッキングフォレンジック調査員）を提供しています。

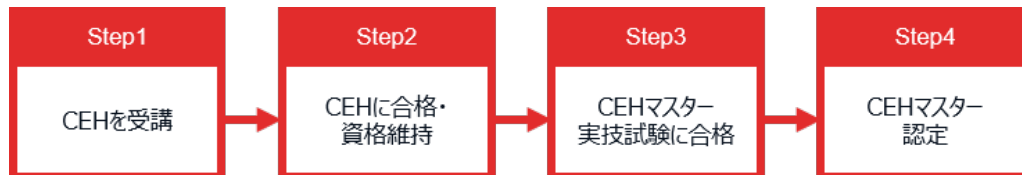
➤ CEH マスターの位置づけ



CEH マスターとなるための実技試験（CEH Practical）では、大規模組織の複雑なネットワークを再現した環境を使用して、ホワイトハッカーとして、リアルタイムの脆弱性を発見し、同時にシステムを監査するスキルが求められます。このような実環境を使用した試験を行うところが、CEH マスターの大きな特長です。

「I learned it, I understood it, and I proved it, (私は学び、理解し、証明できる。）」と自信をもってホルダーの皆様に宣言していただくために、CEHの次なるステップに進まれることを推奨いたします。

➤ CEHマスター実技試験の流れ



- ・ 受験条件：EC-Council CEHホルダーであること
- ・ 試験機関：EC-Council RPS（リモート環境での試験）
- ・ 実技試験：演習環境「iLabs」サイバーレンジ（英語）
- ・ 課題数：20問
- ・ 試験時間：6時間
- ・ 合格点：70%以上
- ・ 受験料：107,800円（税込）

■CEH マスター実技試験合格者について

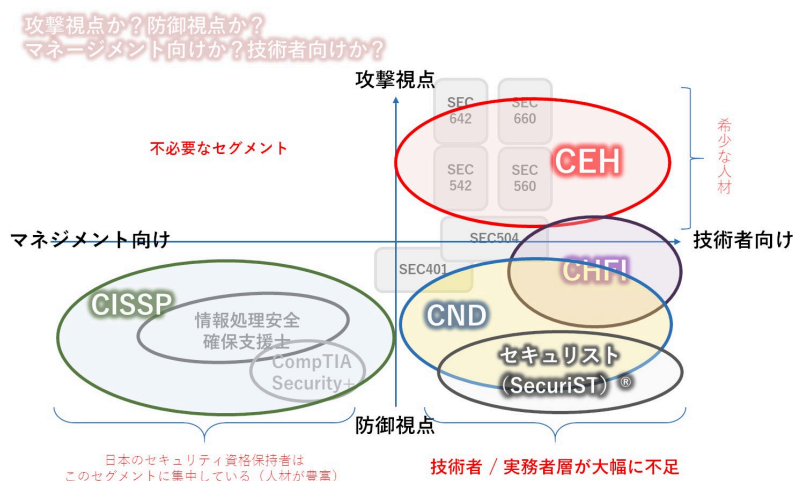
CEHの上位資格であるCEHマスター実技試験を国内で初めて受講し、認定ホルダーとなったBSI Professional Services Japan株式会社、石原様の受講インタビューをご紹介します。

- CEHマスター実技試験合格者インタビュー詳細はこちらから
<https://www.gsx.co.jp/academy/ceh/ceh-master/BSI.PSJ.html>



- CEH マスターの詳細と実技試験のお申し込みはこちらから
<https://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/digital-trust/Cybersecurity-Information-Resilience/Training/certified-ethical-hacker-ceh-master/>

■GSX が提供しているサイバーセキュリティ資格の位置づけ



GSX では各種コースウェアについて、縦軸に「攻撃視点」～「防御視点」、横軸に「マネジメント向け」～「技術者向け」のマッピング定義をしております。

国内のセキュリティ資格保持者は「防御視点」かつ「マネジメント向け」のセグメントに資格保持者が集中しており、セキュリティ人材が豊富な状況です。一方、「技術者向け」かつ「防御視点」エリアにおける技術者や実務者層が大幅に不足しています。そのような市場環境を変えるべく、プラス・セキュリティ人材の育成にも注力しております。

■CEH (Certified Ethical Hacker : 認定ホワイトハッカー) とは

CEH (Certified Ethical Hacker : 認定ホワイトハッカー) は、最新のセキュリティ脅威や攻撃手法、攻撃ツールの使い方などを 5 日間で学ぶ、座学とオンライン実習を組み合わせた学習効果の高いコースです。世界 145 ヶ国で提供されている米国 EC-Council International 社のコースウェアのひとつで、米国防総省、英国諜報機関 GCHQ およびその他の多くのミッションクリティカルな職務で採用されています。知識・スキル・攻撃手法を組み合わせたホワイトハッキングスキルを会得でき、防御側の想定範囲を超えた攻撃の学習をすることで、ホワイトハッカーとして「攻撃者視点」の判断力を習得し、効果的な防御に活かすことができます。受講者がサイバー空間の最新の技術等に触れることができるように常に更新されています。

<https://www.gsx.co.jp/academy/ceh.html>

■CEHの受講者実績について

2016年の開講以来、エンドユーザー企業様をはじめ、SIer企業様、官公庁様、セキュリティ専門企業様など、数多くの企業様にご受講いただいています。

- CEH受講者のインタビュー詳細はこちらから
<https://www.gsx.co.jp/academy/ceh.html>

◆BSI (英国規格協会) と BSI Professional Services Japan 株式会社について

BSI (British Standards Institution : 英国規格協会) は、1901 年の設立以来、世界初の国家規格協会として、また、ISO の設立メンバーとして活動する規格策定のプロフェッショナルです。現在、193 カ国で 84,000 組織以上のお客様の活動に貢献しています。BSI グループジャパンは、1999 年に設立された BSI の日本法人です。マネジメントシステム、情報セキュリティサービス、医療機器の認証サービス、製品試験・製品認証サービス及びトレーニングコースの提供をメインとし、規格開発のサポートを含め規格に関する幅広いサービスを提供しています。

URL : <https://www.bsigroup.com/ja-JP/>

BSI Professional Services Japan 株式会社は、BSI グループの一員として、比類のない独自の知識と経験を基盤に、日本でコンサルティングやセキュリティ診断サービスを提供しています。PCI DSS 準拠支援サービスを始めとしたサイバーセキュリティのコンサルティングサービスやセキュリティ診断およびセキュリティ教育サービス、プライバシーマネジメント、グローバルな法規制対応等の各種サービスを展開しています。

URL : <https://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/Cybersecurity-Information-Resilience/>

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名：グローバルセキュリティエキスパート株式会社

東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4F

西日本支社：〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル8F

西日本支社名古屋オフィス：〒451-6040 愛知県名古屋市中区牛島町6-1名古屋ルーセントタワー40F

代表者：代表取締役社長 青柳 史郎

証券コード：4417

上場証券取引所：東京証券取引所マザーズ市場

資本金：485,000,000円

設立：2000年4月

コーポレートサイトURL：<https://www.gsx.co.jp/>

GSX は、サイバーセキュリティ教育カンパニーです

わたしたちは、情報セキュリティ・サイバーセキュリティに特化した専門会社です。高い継続率を誇るセキュリティコンサルティングや、長年のノウハウを踏襲した脆弱性診断、豊富なサイバーセキュリティソリューションをはじめ、セキュリティ全体像を網羅した教育サービスをご提供しています。

DX が加速し、サイバーセキュリティニーズが拡大する市場で各事業の軸に「教育」と「グローバル」を据え、日本の情報セキュリティレベル向上に貢献します。また、GSX は、中堅企業や地方企業を中心としたユーザー様に対し、それぞれに最適なサービスを提供し、サイバーセキュリティの知見・ノウハウをお伝えすることで、日本全国の企業の自衛力向上をご支援します。

▶ **コンサルティング**

・マネジメントコンサルティング

お客様が抱える情報セキュリティに関する課題について、現状の可視化から、解決に向けた計画策定・体制構築に至るまで、IT のみならずシェア No.1*の OT セキュリティ領域に関しても一貫した支援をご提供します。

*出典：ITR「ITR Market View：サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2021」OTセキュリティ診断・構築運用支援サービス市場－従業員 300～1,000 人未満：ベンダー別売上金額シェア（2019～2021 年度予測）

・テクニカルコンサルティング

ハッカーと同様の技術を持つ専門エンジニア（ホワイトハッカー）が、お客様のネットワークシステムに擬似攻撃を行い、脆弱性の有無を診断して、対策措置、結果報告書までをご提供します。

▶ **セキュリティ教育**

・企業向けセキュリティ訓練

業界シェア No.1*であるトラップメール（GSX 標的型メール訓練サービス）や、IT セキュリティ e ラーニングサービスの Mina Secure®によって従業員のセキュリティリテラシー向上をご支援します。

*出典：ITR「ITR Market View：サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2021」標的型攻撃メール訓練サービス市場－従業員 1,000～5,000 人未満：ベンダー別売上金額シェア（2019～2021 年度予測）

*出典：ITR「ITR Market View：サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2021」標的型攻撃メール訓練サービス市場－流通業：ベンダー別売上金額シェア（2019～2021 年度予測）

*出典：ITR「ITR Market View：サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2021」標的型攻撃メール訓練サービス市場－建設業：ベンダー別売上金額シェア（2020～2021 年度予測）

・エンジニア向け教育講座

セキュリティ全体像を網羅した業界シェア No.1*の教育サービスをご提供します。EC-Council
セキュリティエンジニア養成講座、日本発のセキュリティ人材資格「セキュリスト (SecuriST)
® 認定脆弱性診断士」などで、セキュリティ人材を育成します。

*出典：ITR 「ITR Market View：サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2021」セキュリティ教育
サービス市場—従業員 1,000～5,000 人未満：ベンダー別売上金額シェア（2020～2021 年度予測）

▶ **ITソリューション**

・バイリンガルITプロフェッショナルサービス

バイリンガルのIT人材リソースをご提供します。グローバル拠点への対応はじめ、国内のバイ
リンガル対応を必要とするお客様へのIT+サイバーセキュリティサービスをご提供します。

▶ **セキュリティソリューション**

・サイバーセキュリティ製品導入・運用サービス

最新の脅威や攻撃手法などに対して有効なサイバーセキュリティ製品・サービスを、実装・運
用を組み合わせたワンストップソリューションでご提供します。

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【本リリース内容に関するお問い合わせ先】

BSIグループジャパン株式会社（英国規格協会） 営業本部マーケティング部

TEL：045-414-3021 MAIL：Japan.Marketing@bsigroup.com

※上記はメディア関係者限定の特記情報です。個人のSNS等での情報公開はご遠慮ください。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 営業本部 戦略室

TEL：03-3578-9001 MAIL：mktg@gsx.co.jp